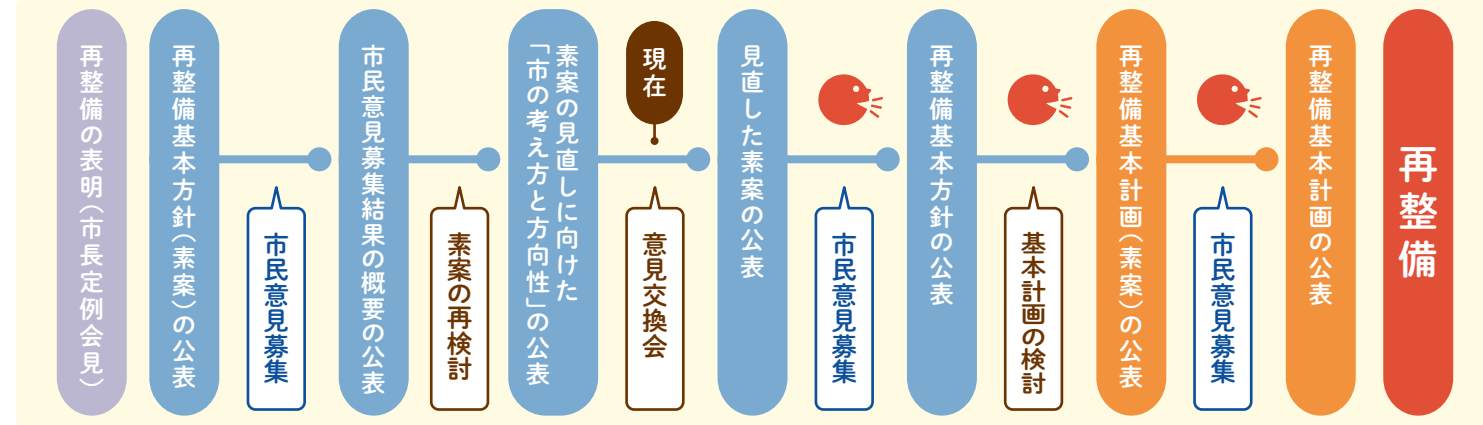


王子公園再整備にかかるスケジュール(予定)

R3.1 R3.12 R4.2 R4.6 未定



🔴 = みなさまからご意見をいただく機会です。

王子動物園からのお知らせ

王子動物園は今年3月に開園72年目を迎えました。動物園は動物を観て楽しむだけでなく、動物を通して様々な発見・学びを得ること、希少動物の種の保存、動物の調査研究を行うことなどの大切な役割があります。

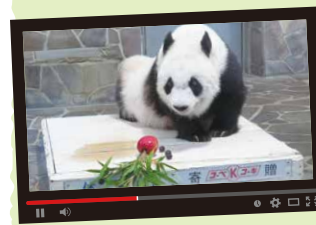
これらをしっかりと守りながら、これからもこの場所で、みなさまに愛され続ける動物園を目指して、みなさまの意見をお聞きしながらリニューアルを進めていきます。



王子動物園公式アカウント

「YouTube」・「Twitter」で情報発信中!

大人気! 動物たちの元気な姿を日々紹介中!



公式YouTube、Twitterで配信中国動物たちの素顔は必見! ぜひご覧ください。



王子動物園のフリーマガジン

「Habataki」

動物たちの情報が盛り沢山!

動物園内、市内インフォメーションセンター(三宮・北野・新神戸)で配布中! 最新号を8/31に発行しました。今号はコアラ特集! あまり知られていない動物の豆知識が満載です。



王子動物園のご案内

休園日

水曜日(祝日は開園)、12月29日~1月1日

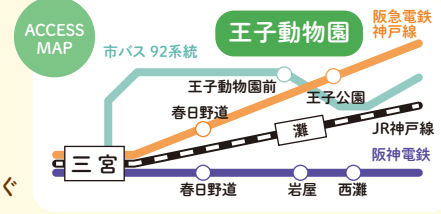
料金

大人(高校生以上) 600円
中学生以下 無料
兵庫県在住65歳以上の方・障害者の方 無料

アクセス

- 阪急「王子公園」駅 徒歩3分
- JR「灘」駅 徒歩5分
- 阪神「岩屋」駅 徒歩10分
- 神戸市バス92系統「王子動物園前」バス停すぐ

※ご来園の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。(土日祝は駐車場が混雑する場合があります。)なお、市立三宮駐車場・市立花隈駐車場を利用し、公共交通機関でご来園された場合は駐車料金を3時間まで割引いたします。



王子公園 mini news

王子公園 これからどうなるの?



王子公園の再整備に向けて再整備基本方針(素案)の策定を進めています。

王子公園ってどんなところ?

歴史・沿革

王子公園一帯はかつて「原田の森」と呼ばれ、明治中頃まで田畑が広がっていました。

- 1204年(元久1年) 健御名方尊神社(後の王子神社)が建立
- 1889年(明治22年) 王子動物園の場所に関西学院が設立
- 1902年(明治35年) 神戸高等商業学校(現:神戸大学)が設立
- 1919年(大正8年) 市電「筒井駅」が開業 翌年に阪神急行電鉄「上筒井駅」が開業
- 1929年(昭和4年) 松蔭女子学院が現在地に移転
- 1950年(昭和25年) 王子公園供用開始
- 1951年(昭和26年) 王子動物園が開園
- 1951年(昭和26年) 神戸海星女子学院が設立
- 1956年(昭和31年) 陸上競技場(王子スタジアム)等が完成(第11回国体が開催)
- 2006年(平成18年) 神戸文学館が開館

1915年(大正4年)頃の原田の森

王子公園 周辺の現況

阪急王子公園駅周辺は六甲山系の美しい山並みを背景とした阪神間を代表する景観が広がり、良好な住環境が形成されています。

また、文化施設や教育施設、スポーツ施設が集積する学術・文化のまちとして発展を遂げてきました。南北を貫く「ミュージアムロード」には、多くの芸術作品が設置されているほか、震災からの復興のシンボルである兵庫県立美術館や横尾忠則現代美術館などもあります。

王子公園周辺は、多くの方が市内外から訪れる文教エリアとして魅力的な地域になっています。

土地利用状況図



お問い合わせ先 総合コールセンター(年中無休 8時00分~21時00分)
TEL:0570-083-330 または 078-333-3330
FAX:078-333-3314

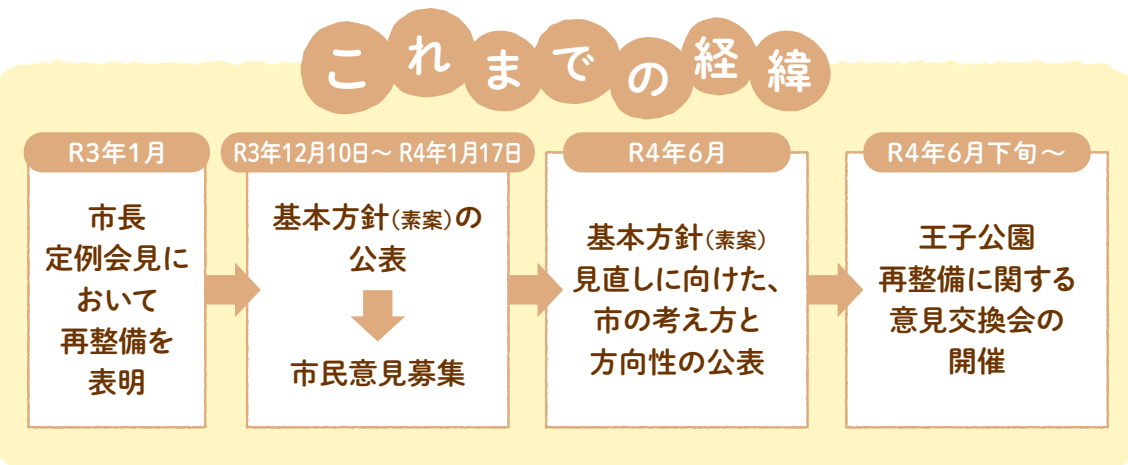
発行元 神戸市

王子公園 再整備基本方針(素案)の見直しを進めています

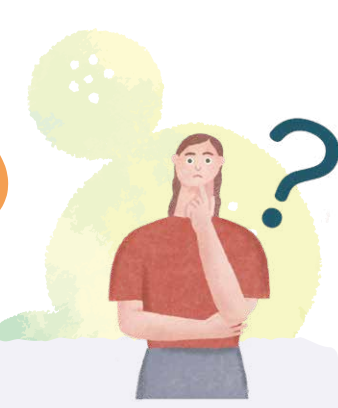
再整備基本方針(素案)については、令和3年12月10日～令和4年1月17日にかけて、市民意見募集を実施した結果、様々な観点から多くのご意見が寄せられました。

いただいた市民のみなさまの声を重視し、基本方針(素案)の見直しに向けた「市の考え方」及び「王子公園内の施設の方向性」について再検討するとともに、6月下旬より市民のみなさまとの意見交換会を重ねながら、基本方針(素案)の見直しを進めています。

なお、見直した基本方針(素案)については、あらためて市民意見募集を行う予定です。



王子公園 再整備のよくある質問 FAQ



再整備全体・施設配置

Q なぜ今、再整備が必要なの？

王子公園ができて70年以上経ち、動物園をはじめとした多くの施設が老朽化しているため、大規模修繕や施設の更新に速やかに取り組まなければなりません。

Q どうしてこのような施設配置になるの？

施設配置にあたっては、「誰もが憩いづらげる一般に開放された『人のための空間』を拡大し、公園内にバランス良く配置」「ゾーン間の物理的つながりと視覚的な拡がり確保」「各ゾーンにおける施設・機能は可能な限り集約し、効率的な施設配置を検討すること」を重視しています。

これに基づき、現在の駐車場や補助競技場までの通路から自動車を排除し、「緑の広場」や「シンボルプロムナード(大きな遊歩道)」を整備します。

また、新スタジアムを体育館や弓道場のある北側に配置し「スポーツゾーン」として集約し、あわせて子どもの遊び場も充実させることなどを提案しています。

Q 今ある施設の更新ではだめなの？

「原田の森」として育まれた歴史や景観を大切に守り、将来へ確実に継承していくためには、長期を見据えたニーズに応え、持続可能な神戸の発展に寄与する新たな価値を生み出す必要があります。

「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」を両立し、若年定住・交流人口の増加、都市ブランドの向上を目的に、市として大学誘致を提案しています。



動物園・遊園地

Q 動物園・遊園地はなくなるの？

動物園・遊園地は存続します。遊園地の施設は老朽化が進んでいるため見直しは必要ですが、動物園内には子どもたちの遊べる施設が必要と考えており、遊園地施設に対するみなさまの愛着にも配慮しながら、ふさわしいレクリエーション機能のあり方を検討します。

Q どんな動物園にリニューアルするの？

施設の老朽化への対応や動物福祉の向上等の観点を踏まえて、獣舎等施設の更新や展示方法の充実を図るとともに、動物園に求められる4つの役割である「種の保存」「調査研究」「教育」「レクリエーション」を十分に踏まえてリニューアルを検討します。

Q 入場料はどうなるの？

再整備に伴う料金の引き上げは考えていません。

スポーツゾーン

Q スタジアムやプールはどうなるの？

公園の北側に配置する新スタジアムでは、アメリカンフットボールに限らず、サッカーやグラウンドゴルフ、運動会や地域のイベントなど、幅広い競技・用途でご利用いただけるよう運用します。

また、陸上競技の公式大会はユニバー記念競技場で開催され、王子スタジアムでは、部活動などの練習に利用されていることを踏まえ、練習用の400mトラック(4レーン)を整備します。なお、フィールド・トラックともに一般開放の時間帯を設定します。

プールは、利用期間が夏期の2か月に限定されることや施設の老朽化が著しいことから、廃止する提案をしています。なお、屋内プールを備えたポートアイランドスポーツセンターの再整備の中で、レーンの増設など、プールの機能を充実させるとともに、受け入れ環境を強化するため、そちらをご利用いただきたいと考えています。

緑の広場

Q 「緑の広場」ってなに？

王子公園駅に隣接する公園のエントランスエリアについては、「緑の広場」として、ラジオ体操や地域活動、地域と大学との交流に活用できる多目的な芝生広場をはじめ、子どもたちが遊べる遊具や水遊びのできる親水空間、公園の利用を促進するにぎわい施設などを設置します。

大学

Q なぜ王子公園に大学誘致が必要なの？

王子公園は、阪神間の山麓部の交通利便性が高い文教エリアに立地しており、都市間競争に打ち勝ち、大学誘致を実現するという観点から、最も望ましいエリアであると考えています。

なお、市として大学誘致を表明して以来、複数の大学から問い合わせをいただいており、大学側にとって大都市中心部への立地は非常に関心が高いものと考えています。

Q 少子化が進んでいるし神戸には大学がたくさんあるからこれ以上いらなのでは？

少子化が進む中でも学生が確保しやすい大都市中心部への立地志向は高まっています。関西圏においても複数の大学が都心部へ移転しており、全国の過去10年の学生数は概ね横ばいで推移する一方、京都・大阪では学生数が増加しています。

神戸市においても、王子公園の駅前の便利な立地を活かし、質の高い競争力のある大学を誘致することで、多くの学生を呼び込み、近隣地域の活性化を図るとともに、持続可能な神戸の実現につなげていきたいと考えています。

さらに詳しく

王子公園再整備に関する詳細なFAQについては、HPに掲載しています。

こちらよりご確認ください

